

授業改善等に関する報告書（2020 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育学概論	田中 正浩	全体として平均的な評価を得てはいるが、このような状況下においてもより双方向的な授業内容・方法となるように工夫すべきであったこと、加えて、配付資料においても受講生の意欲が喚起され、理解が深まるような工夫をすべきであったことを反省している。今後、さらに、受講生にとって満足度の高い授業になるように努めていきたい。
保育内容指導法（言葉）	松田 純子	「保育内容指導法（言葉）」は演習科目であるにもかかわらず、今回はオンデマンド型授業ということになり、受講生のみなさんには申し訳なく思います。これから絵本の読み聞かせや紙芝居の実演など、実際にやってみる機会を自ら求めて、経験を積んでください。理論と実践の往還が大切です。
教育実習指導（小学校）	南雲 成二, 渡辺 敏	☆生活文化学科幼児保育・幼小コース11人の皆さん、2年生時代の「児童教育法」「各初等教科教育法」「カリキュラム（教育課程）論」、これらの学習をよく紡ぎながら『学級・学年経営力・指導力』と『教科経営力・学習創造&支援力』を地道に拡充してくれました。とても立派です。小学校教育実習は、縦糸にあたるものが「13教科の学習創造＝授業」、横糸にあたるものが「学級・学年経営」として構成され日々実践されていきます。深く暖かい児童理解力と、教育方法・技術&授業改善力に基づく教科学習推進力が『要（勝負）』となります。皆さんは充分にその基礎力を身につけてきています。
保育内容指導法（言葉）	松田 純子	「保育内容指導法（言葉）」は演習科目であるにもかかわらず、今回はオンデマンド型授業ということになり、受講生のみなさんには申し訳なく思います。これから絵本の読み聞かせや紙芝居の実演など、実際にやってみる機会を自ら求めて、経験を積んでください。理論と実践の往還が大切です。
知覚・認知心理学b	中山 友則, 作田 由衣子	オンデマンド授業になったことで、難しい内容でも繰り返し動画を視聴することができて理解が深まったとのコメントがありました。また、質問になるべく丁寧に答えるようにしたことで、オンデマンドでも双方向性のある程度確保できたと思います。 授業の内容を身近なことと関連付けて考えることができたとのコメントもありました。今後ぜひ、知覚や認知を身近なものとして勉強してもらえればと思います。
教育思想史	田中 正浩	教育思想史における授業アンケートの回答は得られていない。
保育活動の実際a	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。私自身も試行錯誤の連続で、どのように行ったらベストなのか、ベターなのか、常に問いながらの授業でした。その中で皆さんも一生懸命授業に参加して下さったのはありがたいと思いました。 皆さんからのコメントを読ませていただいて、対面からメディアに移行して申し訳なかったという気持ちと、様々な考えをもつ人たちがいる中で皆さんに理解をいただきながら、満足していただきながら授業を進める難しさも感じています。対面では気軽に聞けても、manabaを通してだと難しかったり、通常の授業にはない困難さがあった点は、今後に生かしていきたいと思えます。 ピアノの弾き歌いの目標、どこまでできるようにするかについては、個々によって異なります。弾き歌いをするのでいっぱいの人もいたと思います。そうした人は、まず自分自身が楽しく弾き歌いすることや、歌詞の意味を理解して弾き歌いできるようになってほしいと思います。一歩進んで弾き歌いに余裕が出てきたら、表情に気をつけたり、プレスを意識すること、さらに曲のイメージを人に伝えようという気持ちが出てきたら嬉しいです。弾き歌いの目標は、決して難しい楽譜を弾けるようになるということではないと思っています。そのことを理解していただけるよう、2年次音楽でも皆さんと関わっていききたいと思えます。 ありがとうございました。
家庭経営論1	高橋 桂子	元気な1年生たちとのZOOMを通した授業は、先生も面白かったです。ブレークアウトセッションも有効でしたね。毎回のResponで、皆さんが自由にコメントくださったおかげで、毎回、授業改善ができました。正解であることを望んでいません、発言してくれることを期待しています。この調子で引き続き頑張っていきたいと思います。高橋

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活文化史 1	細江 容子	<p>今回、COVID-19の問題によるリモート対応で、Q7の「説明はわかりやすかったですか？」との質問に対して十分でない部分があったと考える。教員自身初めてのリモート授業対応であり、どの様な対応が学生に対してより良い講義を実現できるかが手探りの状況であった。ManabaやZoomなどでの授業に関して他大学の教員との情報の共有を行うなどしたが、他大学でも同じ状況であり、十分な情報は得られなかった。さらに他の教員の倍近いコマ数を抱える中、1年生のクラス担当として1年生の対応にあたるなどで、睡眠を4時間まで削るなどで時間を捻出したが、時間がいくらあっても足りないのが現状であり学生への十分な対応にいたらなかったことがQ7の要因となつたと言えよう。</p> <p>Q10. 『担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか？（オンデマンド授業の場合は、「3. どちらともいえない」を選択する』であり、この項目に関しては、学生が3を選択しても問題ないと思う。</p>
保育活動の実際a	越山 沙千子	<p>半期お疲れさまでした。私自身も試行錯誤の連続で、その時その時のベスト、ベターを目指して取り組んでいたつもりですが、皆さんも慣れない中努力してくださって感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>対面からメディアに再び切り替える時は、私もとても心苦しく、申し訳ない気持ちでした。様々な考え方があつた中で、皆さんに満足していただけるような判断というのはなかなか難しいことも実感しています。</p> <p>授業内容については、皆さんのコメントを読ませていただいて大切なところはご理解いただけたように感じ、安心しています。子どものかかわりは、たったひとつの正解があるわけではないと思います。様々な背景や脈絡から「こうであろう」という解釈が生まれます。その解釈する力を今後も養ってほしいと思います。</p> <p>弾き歌いは、難しい曲を弾けるようになることが目標ではなく、その曲を大切に、子どもに伝え、共有するために何をしたらよいのか、どう考えたら良いのかというところをいつも気にしながら取り組んでいたければ嬉しく思います。丁寧に1曲を自分なりに仕上げる作業を積み重ねてくださいね。ありがとうございました。</p>
家族関係論	細江 容子	<p>今回、他の教員の二倍近い科目を抱えこれまで経験のないウェブ授業をいうことでの講義への対応であった。そんな中で学生自身も教員自身も不安が多かったと考える。パソコン画面による講義受講、学生自身本当のよく頑張ったと感じている。</p>
心理学研究法入門 1 (心理学研究法)	中山 友則, 作田 由衣子	<p>この授業は内容的にかなり難しく感じた方も多かつたようです。前期の授業ということでこちらも試行錯誤しながら授業を作りました。メディア授業で直接会えませんが、わからないことや気になることはぜひmanabaを利用して積極的に質問・相談してもらえればと思います。こちらは質問・相談がないとどこでつまづいているかなどがわかりませんので、遠慮せずご相談ください。</p>
道徳の指導法	渡辺 敏	<p>実際に小学校での授業参観ができなくて残念でした。また、ユニセフの見学もできませんでした。その中で、指導案作成、模擬授業をよくがんばりましたね。小学校実習で、また、自身が先生になったときに道徳の授業を楽しんで取り組んでほしいです。</p>
保育・教育指導の基礎	松田 純子, 井口 眞美 渡辺 敏, 大澤 朋子	<p>見学観察や参加型の授業ですが、前期は残念ながらオンデマンドになってしまいました。それでもしっかり学習できていたことがうかがえます。後期は対面での授業になりますので、引き続きしっかり学習しましょう。</p>
子どもの保健 2	塩川 宏郷	<p>子どもの保健 1 の内容をさらに深め、各種ガイドラインや、障害のある子どもと家族への支援について中心的に講義し、随時練習問題に取り組む内容とした。保育士国家試験レベルの内容を確認テストで出題したが、習熟度にはばつきがみられた。実際の現場で役に立つ知識、応用可能な知識の習得とそれを生かす柔軟性を期待する。今後はさらに演習となる内容を盛り込みたい。</p>
保育・教育指導の実際	松田 純子, 井口 眞美 渡辺 敏, 大澤 朋子	<p>幼保コース・幼小コースが合同で受講する回と、コース別に受講する回があり、オンデマンドでなおさらわかりにくかつたかもしれません。通年科目のため、後期にまとめてフィードバックします。</p>
生活心理フィールドワーク 2	水野 いずみ, 作田 由衣子 塩川 宏郷	<p>今年度は外部施設への訪問ができないため、特殊な内容になったが、フィールドワークの基本であるインタビューを実際に体験することで調査の計画、実施、まとめを体験した。学生にはインタビュー調査のまとめかたについてはさまざまな手法や考え方があつたことを実感してもらえたと思う。今後も工夫しながらフィールドワークの実際について学習してもらいたい。</p>
保育者論	田中 正浩	<p>評価からは、授業内容・方法について、受講生の視点で工夫・改善すべき点は多くあつたと感じている。本教科での学習内容が、受講生の今後の保育活動に直結することを考えれば、受講生の理解度を高め、より満足できる授業をめざしていきたい。</p>

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	オンデマンド型の授業で資料を読み込むことが求められたが、学生はよく継続できた。小テストを行い理解の度合いをみたがまずまずと思われた。資料には著作権の問題から図表を掲載することが難しいので、適宜ウェブサイト参照してもらった形式をとった。単位をとるためだけでなく、日常生活に身につけた知識を生かしてもらいたい。今後はビジュアルな資料の提示方法について検討する。
保育原理 1	松田 純子	「保育原理 1」は、保育士資格や幼稚園教諭免許取得のための必修科目です。授業はオンデマンド型でしたし、その内容は、保育の制度や法令に関することも多く、具体的な子どもの姿から離れた、少々かたい話題も多かったため、受講生のみなさんは資料を読むのが大変だったかと思います。しかし、毎回の課題提出を見てみると、保育の基本として大切な内容と自覚して、みなさんが意欲的に取り組んでくれたことが分かり、大変嬉しく思います。オンデマンドに加えて、双方向や対面の授業があればよかったという声もありましたが、私も同感です。今後はぜひ対面授業でお会いしたいです。
家族心理学 (社会・集団・家族心理学 b)	長崎 勤	家族心理学についての、コロナ状況、また最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族の問題に関心を持ってもらえればと思います。
ゼミナール	高橋 桂子	「生徒の話最後まで聞かずに「違うのよ、そりゃそうよ」など話をしないでほしいです。」というコメントがありました。90分という時間が限られている中でいかに生産性を上げるか。先生はせっかちだ、ということを理解してくれた上で高橋ゼミを選んでくれていてと思っておりました。残念です。同時に、その点は後期では十分に注意していこうと思います。なお、ゼミは「講義」とは違います。その点を理解いただくと幸いです。
ゼミナール	田中 正浩	回答数が少なく、分析、評価をするのは難しいが、授業内容及び方法のより一層の工夫が必要であり、4年次での卒論作成に各自が主体的に対応できるように授業の質を上げていきたいと考える。
ゼミナール	南雲 成二	☆生活文化学科第3学年ゼミナール（南雲ゼミ）、毎回真剣に真摯に参加してもらいとても嬉しく思います。①「る」の学力形成・伸長をいかに促進するか。（わかる・できる・つかえる・つかいこなせる、やりたくなる・もっとやりたくなる）②その為の「方」の学力をどう身につけさせるか、鍛えるか。（話し方・聴き方・書き方・読み方、調べ方・発表の仕方、協力協働参画の仕方等々） ①と②をこれからも追求・探究していきましょう。また、③として南雲ゼミオリジナル『おすすめ文庫～A・O・N・Mの選ぶ100冊読書案内付き読書ノート～』の開発も是非やり遂げましょう。（南雲より）
ゼミナール	渡辺 敏	オンラインでのゼミナールになり、学ぶ難しさがあつたのではないのでしょうか。実際の保育、教育場面での取り組みを考えながら、幼児、児童の生活や学びの問題に、学修したことを活かしてください。
生活文化概論	田中 正浩、高橋 桂子 水野 いずみ、松田 純子 井口 眞美、南雲 成二 細江 容子、渡辺 敏 長崎 勤、作田 由衣子 島崎 あかね、大澤 朋子 塩川 宏郷	☆今年度は、新型コロナウイルス感染症について概説しながら小児科学について紹介した。初めてのZoomを使った双方向授業だったが学生は積極的に参加していた。 ☆「子どもの成長・発達とことばの学習室づくり」「初等教育と言語教育実践の課題」について、小学校校長時代の『学校だより』を題材として学生の皆さんに読んでいただいた。皆さんのレポートを届けていただき、勇気・元気・やる気もらいました。後期「基礎演習 1」とも学習内容が繋がっていることもよく理解していただき嬉しかったです。（南雲）
初等教科教育法（国語）	南雲 成二	☆生活文化学科幼児保育・幼小コース専攻の8人の方々に受講してもらいました。コロナ禍（渦・火）ニモマケズ、毎回真剣に「初等教育におけることば（コトバ・言葉）教育の課題と具体的教育方法について学び合うことができて嬉しかったです。特に『模擬授業学習会』への取り組み姿勢（態度）に感動しました。この努力が小学校教育実習の基盤力となります。お疲れ様でした。よくがんばり（顔晴る・頑張る）ました。（南雲）
生活デザイン入門	高橋 桂子、中野 裕美子	皆さん、よく頑張ってくれました。東条先生の動画も素晴らしいし、時々ZOOMを織り交ぜながら、クイズ形式で過去問にトライできました。おかげでFP3級受験12名（1年生3名、3年生7名、4年生2名）、自己採点で合格は3年生5名、4年2名（1年生は回答なし）。次年度もこのスタイルで行きたいと思います。ありがとうございました。（高橋）
保育実習指導 1	松井 利恵	「保育実習指導 1」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は3名いましたが、後期にまとめてコメントします。
保育実習指導 2	松田 純子、大澤 朋子	「保育実習指導 2」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は5名いましたが、後期にまとめてコメントします。

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理学概論 1	水野 いずみ	大変な状況のなか、学生たちは熱心に学習に取り組んでいたと思います。これからも工夫しながら授業を行っていききたいと思います。
初等教科教育法（算数）	渡辺 敏	オンラインということもあり、模擬授業等の取り組みが難しかったことと思います。教育実習では、実際に模擬授業を行う機会があると思います。是非、自分なりのよい授業イメージを持って取り組んでください。
社会	田中 正浩	回答数が半数以下なので本評価をもって判断することは難しいが、全体的には良好な評価を得てはいる。ただ、授業方法・内容、とくに配付資料において受講生の視点で工夫をする必要があると感じている。評価結果を踏まえ、受講生が自身の成長を実感できるような授業をめざして、工夫、改善していきたい。
保育実習指導 1	松田 純子, 大澤 朋子	「保育実習指導 1」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は 4 名いましたが、後期にまとめてコメントします。
家族と生涯発達各論 c（高齢期）	細江 容子	今回の回答者が 4 割であり、全体への回答対応が可能か疑問であるが、アンケートの結果に対して以下に述べる。 今回、COVID-19の問題によるリモート対応で、Q7の「説明はわかりやすかったですか？」との質問に対して十分でない部分があったと考える。教員自身初めてのリモート授業対応であり、どの様な対応が学生に対してより良い講義を実現できるかが手探りの状況であった。ManabaやZoomなどでの授業に関して他大学の教員との情報の共有を行うなどしたが、他大学でも同じ状況であり、十分な情報は得られなかった。さらに他の教員の倍近いコマ数を抱える中、1年生のクラス担当として1年生の対応にあたるなどで、睡眠を4時間まで削るなどで時間を捻出したが、時間がいくらあっても足りないのが現状であり学生への十分な対応にいたらなかったことがQ7の要因となったと言えよう。 Q10. 『担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか？（オンデマンド授業の場合は、「3. どちらともいえない」を選択する』であり、この項目に関しては、学生が 3 を選択しても問題ないとする。
保育実習指導 2	松井 利恵	「保育実習指導 2」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は 4 名いましたが、後期にまとめてコメントします。
児童教育法	津田 ひろみ, 南雲 成二 渡辺 敏	☆生活文化学科 幼児保育・初等教育専攻コース第9期生（7名）の皆さん、コロナ禍の中よく努力してくれました。児童教育法（前期）では、特に小学校教育実践の「要」となる『学級・学年経営（創造）の原理と方法、技術と評価改善の手法』を学びます。一つの具体が『学級・学年経営案の作成と改善』です。先輩方の学習記録を大切なテキストとして参考にしつつ、一人ひとりが苦勞して制作してきた『第〇学年〇級 学級経営案集』、学び手の発達特性を丁寧に把握する努力をしつつ、細やかでかつ骨太な児童理解にも積極的に取り組み、即実践の基盤・基礎となるレベルに到達しつつあります。この学習や努力が来年・再来年の「小学校教育実習」や「授業研究」、「公立小学校教員採用試験対策」に直結していきます。継続は力なり！です。顔晴りましょう。学び合う友がいること、大切にしながら前進ですね。
ゼミナール	井口 眞美	保育現場の協力があり、一度は保育園に行くことができ、よかったと思っています。引き続き、現場とつながりをもちながら学びを進めていきましょう。
ゼミナール	作田 由衣子	前期はオンラインでゼミを行うことになり、学生の皆さんと直接会うことができずでしたが、なんとか、予定していた内容を行うことができました。論文の発表や研究計画の相談なども、頑張ってくれました。今年の実験をするには工夫がいりますが、頑張ってください。
ゼミナール	塩川 宏郷	前期は双方向形式で、書籍の紹介や文献検索の方法、実際に論文を読みそれを紹介する形でおこなった。学生は積極的に参加しており、各人がおののの研究テーマについて考えを深めるきっかけになった。今後はさらに文献収集や抄読を行いながら、卒業研究のテーマを決定し研究計画書を作成することをめざす。
ゼミナール	長崎 勤	臨床の経験を生かし、興味を持ったテーマについて、文献の検索、文献研究を進めてください。
ゼミナール	松田 純子	「ゼミナール」は通年科目で、前期の授業アンケートは呼びかけていませんでした。回答者は 1 名いましたが、後期にまとめてコメントします。

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール	細江 容子	ゼミで通年の授業であるが、回答を行う。 ゼミであり、100人を超えるなどのクラスでなかったのでZoomを用いるなどによる対応が可能となった。教員としては、自身が初めてのリモート授業対応であり、どの様な対応が学生に対してより良い講義を実現できるかが手探りの状況であった。ManabaやZoomなどでの授業に関してどの様により良い授業が実現できるかが大きな課題と考える。
家庭支援論	大澤 朋子	初めてのオンデマンド授業でしたが、対面授業では聞き流してしまうようなことも資料をよく読んで取り組んでいたようです。
家族社会学	細江 容子	今回の回答者が4割であり、全体への回答対応が可能か疑問であるが、アンケートの結果に対して以下に述べる。 今回、COVID-19の問題によるリモート対応で、Q7の「説明はわかりやすかったですか？」との質問に対して十分でない部分があったと考える。教員自身初めてのリモート授業対応であり、どの様な対応が学生に対してより良い講義を実現できるかが手探りの状況であった。ManabaやZoomなどでの授業に関して他大学の教員との情報の共有を行うなどしたが、他大学でも同じ状況であり、十分な情報は得られなかった。さらに他の教員の倍近いコマ数を抱える中、1年生のクラス担当として1年生の対応にあたるなどで、睡眠を4時間まで削るなどで時間を捻出したが、時間がいくらあっても足りないのが現状であり学生への十分な対応にいたらなかったことがQ7の要因となったと言えよう。 Q10. 『担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか？（オンデマンド授業の場合は、「3. どちらともいえない」を選択する』であり、この項目に関しては、学生が3を選択しても問題ないと考える。
基礎演習2 (科学的思考法とコミュニケーション)	渡辺 敏	オンラインということもあり、グループ活動は難しかったのではないのでしょうか。3年生以降のゼミナール、卒業論文の取り組みでは是非、データを取る事、そこから分析することに取り組んでほしいです。
カリキュラム論 a	南雲 成二	コロナ禍に伴うオンライン（双方向型zoom活用）授業、南雲先生を支えてくれたのは、受講してくれた幼小コース3年生11名の皆さんでした。最初zoomを上手に使えないことが多いなかで、音声を頼りに学習を深め合ったり、ユーバックで送り届けた「印刷教材・資料」を丁寧に活用していただいたり、小学校の教育課程（カリキュラム）を真剣に学んでくれた皆さんにお礼を言いたいです。「ありがとう！！」 ここでの学びが、後期の「小学校教育実習」に必ず役立ちます。
カリキュラム論 b	田中 正浩	評価からは、授業内容・方法について、受講生の視点で工夫・改善すべき点は多くあると感じている。本教科での学習内容が、受講生の今後の保育活動に直結することを考えれば、受講生の理解度を高め、より満足できる授業をめざしていきたい。
基礎演習2 (科学的思考法とコミュニケーション)	高橋 桂子, 作田 由衣子	この授業はほぼ全てオンデマンドでグループワークを行いました。結果的に、想定していたよりもかなり完成度の高いものができました。直接会えない中でここまで仕上げられたのは本当に素晴らしいことだと思います。中には、グループに大きく貢献した人とそうでない人のばらつきもあったかもしれませんが、メディア授業で行ったことで、対面のときよりもむしろそうした部分が可視化された側面もあるように思いました。
教育学演習	南雲 成二	幼児保育・初等教育専攻の4年生の皆さん、小学校教員採用試験合格対策も兼ねる内容の『教育学演習』、コロナ禍（渦・火）の厳しい中、8人+聴講1のだけれども、とてもよく努力してくれました。山梨県・長野県・埼玉県・群馬県・山形県・東京都と採用試験へのチャレンジは個々課題が沢山ありました。けれども基本共通課題を大切に初等教育学・教育実践の基盤整備も真剣に取り組んでくれたことを高く評価します。第7期生の皆さんが達成してくれた4県最終合格と、東京都合格率90%がなによりの成果だと思います。来月4月、「教育学演習・教職実践演習」で学んだことが、即戦力として皆さんの教師力（教職専門力）となっていくことを確信します。
教育心理学	長崎 勤	Zoomでの授業になったために、グループワークが十分に出来なかったのが、残念でしたが、皆さん課題等よく頑張ったと思います。教育心理学についての最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な教育の問題に関心を持ってもらえればと思います。
生活経済論演習	高橋 桂子	本来なら企業訪問を3社行う予定でしたが、コロナ禍で全く異なる内容になりました。企業訪問はできませんでしたが、その分、社会人の基礎知識は学べたのではないかと思います。生活心理フィールドワーク、後期は口外実習を行えそうなので、そこでこの授業で学んだ知識をぜひ、生かしてください。高橋

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育内容総論	井口 眞美	本当は対面授業が進めたかったところですが、みなさんの回答を読むのは楽しみでした。引き続き、実践に根差した授業を進めていきたいと思えます。研究室にも遠慮なく来てください。保育や就職についてお話をしましょう。
生活	松田 純子, 渡辺 敏	シラバスと大きく変更した内容になり、申し訳ありませんでした。動物園に行けず残念でした。また、幼児を招待することもできませんでした。現場では幼児が遊ぶ環境設定は大変重要です。子どもが気持ちよく遊べるよう、また、生活の中から必要なものを見つけて主体的に取り組めるように取り組んでください。
医学概論	塩川 宏郷	精神医学概論といった内容を講義した。症例を提示し具体的なイメージをもってもらうように工夫した。学生は積極的に参加していた。今後は、健康科学概論とつながる形での授業内容とし、日常的な医学的な課題についても取り入れていく予定である。
教職論	田中 正浩	全体として良好な評価を得てはいるが、授業内容・方法において受講生の視点で工夫をする必要があると感じている。今後、評価結果を活かし、受講生が自身の成長を実感できるような授業をめざしていきたいと考える。
体育	島崎 あかね	対面授業は10回しかできませんでしたが、子どもの目線に立って運動の成り立ちを実際に自分の身体で体験的に学ぶとともに、身体を動かすことの意義などを実感してもらえたと思います。暑い時期にマスクをしながらの実技授業は体力的にも大変だったと思いますが、積極的に取り組んでもらえたと思います。
心理調査・検査法 1	水野 いずみ, 長崎 勤	Zoomでの授業になったために、検査法のグループワークが十分に出来なかったのが、残念でしたが、皆さん課題等よく頑張ったと思います。検査の配慮点など考えてもらえたら幸いです。
生涯発達心理学 a	五味 美奈子	今年度は遠隔という形での授業でしたが、小レポート、最終レポートから、各自がこれまでの人生、周囲の人の姿にひきつけて学ぼうと努めていることがうかがえました。この姿勢はとても大事なことです。アイデンティティの確立という時期に「これまでの自分」を振り返ること、今後、他者と心的距離を縮めていくために「自己理解」「他者理解」が必要なことから後期も引き続き生涯発達に関心を持ち続けてほしいと思います。
体育	島崎 あかね	対面授業は10回しかできませんでしたが、子どもの目線に立って運動の成り立ちを実際に自分の身体で体験的に学ぶとともに、身体を動かすことの意義などを実感してもらえたと思います。暑い時期にマスクをしながらの実技授業は体力的にも大変だったと思いますが、消毒などの感染防止対策についても積極的に取り組んでもらえたと思います。
キャリア心理学	五味 美奈子	本科目は学生自身が自己理解を深められるようワークを中心に展開しました。しかし、今年度は遠隔授業となり、manabaで個別対応できるよう配慮したものの、個々への対応は十分ではなかったと感じています。今回取り組んだワークは今後も状況の変化に応じて節目節目で引き続き取り組むことで自己理解が深まりますのでご活用ください。
幼児教育法	井口 眞美, 長谷川 恭子	前期は長谷川先生の音楽表現を中心とした授業でしたが、幼稚園実習に役立ててもらえればと願っています。
臨床心理学 1 (臨床心理学概論)	五味 美奈子	本科目は科目の性質上、学生へのフォローが必要なため、毎回、リアクションペーパーにて感想・質問を受け付け、それにフィードバックする形を取りました。しかし、今年度は遠隔授業ということで十分なフィードバックができていなかったのではないかと思います。また、この科目の内容への関心の高さを感じています。今後も引き続き、大学図書館にある文献を中心に学びを深めてほしいと思います。
ゼミナール	大澤 朋子	前期はZOOMでのゼミが続きました。お互いの顔が見えない状況でしたが、いつもきちんと課題に取り組んでから参加している様子がうかがえました。アンケートを記入する時間を取らなかったため今回は回答者がいませんでした。後期は記入をお願いします。
ゼミナール	島崎 あかね	ほとんどZOOMでのゼミとなり、予定していた本の輪読ができなかったり、図書館での論文検索などが行えなかったのは残念でしたが、それぞれが興味関心のある分野を調べることができた分、後期のゼミで測定手法や分析方法などを学ぶ時間を作りたいと思います。

[2020（前期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生涯発達心理学演習 a	五味 美奈子	<p>本科目は演習ということで、学生が教員より提示されたテーマについて調べ発表、受講生が発表へのコメント、教員がフィードバックを行う形としました。遠隔授業ということで資料収集が難しかったこと、他の授業の課題に追われる中での発表資料作成は大変だったと思いますが、資料提出の不備もなく、提出が滞ることもなく、どの学生も頑張って取り組んでいたことを評価します。また、発表へのコメントも非常によく、感心しました。受講生ひとりひとりの理解と協力がなければ成立しない授業でした。みなさんのご理解とご協力に深くお礼申し上げます。</p>
健康科学論 a（女性の体と心）	塩川 宏郷	<p>女性に特化し、解剖・生理・疾病について解説するとともに、妊娠・出産・育児、加えて育児支援や虐待について講義をおこなった。成績評価はレポートによったが、レポートの書き方をしっかり指導する必要があると感じられた。今後も女性の一生について医学的・医療的な視点から講義を行い、学生が自らのこととして学習・行動できるように工夫をしていきたい。</p>